



多世代で ココロつながる コミュニティー

市は地域での活動を推進し、世代を超えた幅広い交流を目指しています。市内で活動する団体からは、子どもから高齢者まで幅広い世代を対象に軽スポーツに取り組む「うすねニュースポーツクラブ」、市内6地区のコミュニティセンターからは、池田地区の子ども向け講座を紹介します。



「せ〜の」の掛け声で息を合わせて、色とりどりのボールを高く飛ばそう(うすねわくわくスクール)

子どもたちのスポーツ離れや生きがいを見い出せない高齢者が増え続けている現代、薄根地区では多世代が支え合える地域づくりに取り組んでいます。生涯スポーツの普及に貢献した活動が認められ、先月、県の生涯スポーツ優良団体表彰を受賞した「うすねニュースポーツクラブ」は、エアロビックや鳴子を使った「だんべえ踊り」をはじめ、軽スポーツを通じた健康づくりを進めています。

同クラブの設立は2003年。現会長でエアロビック指導者(スポーツ指導者)の小野里順子さんは、市体育指導委員として活動する中、子どもから高齢者までそれぞれの志向やレベルに合わせて参加できる総合型地域スポーツの活動を知り、スポーツを通じた交流を目指しました。スポーツクラブの指導者らで設立準備を開始し、教室を開き交流を続けるうちに、地域の理解を得られるようになりました。

クラブ設立の2年後には、薄根小学校の児童を対象に放課後子ども教室「うすねわくわくスクール」を開校。指導者による運動遊びや、老人クラブへ講師を依頼し昔遊びに取り組んでおり、2014年、地域を巻き込んだ活動が評価され、文部科学大臣表彰を受賞しています。他にも、市委託事業の筋トレ教室の指導やエアロビック愛好者の発表の場「生涯エアロビックフェスティバル」を主催するなど、ニーズに応えたプログラムを提供しています。